

日光医療センター通信

～いろは～



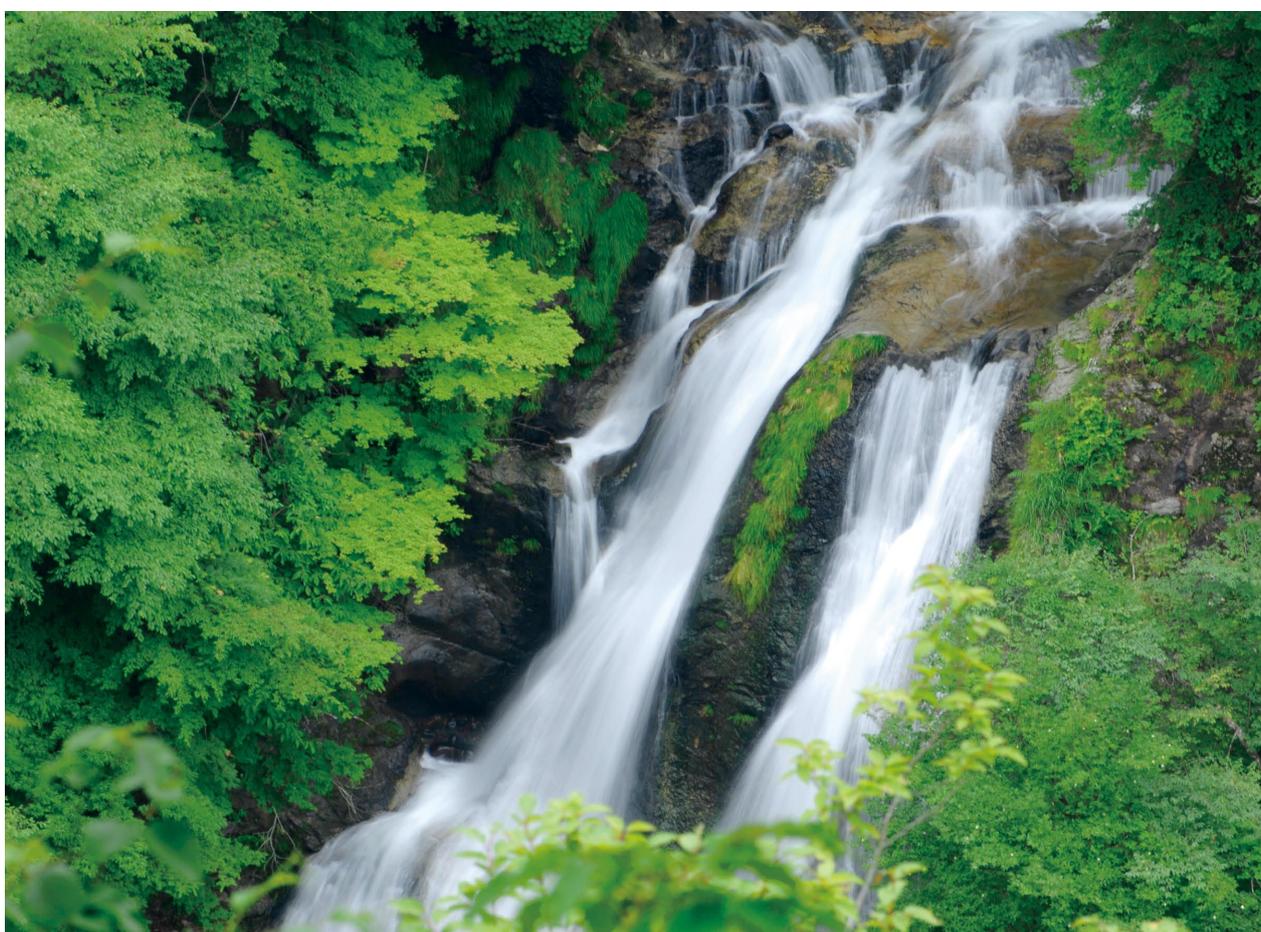
獨協医科大学日光医療センター
Dokkyo Medical University Nikko Medical Center

第

44

号

2022.6



霧降ノ滝（栃木県日光市）

主な内容

診療紹介（心臓・血管外科）	2
認定証更新のお知らせ	3
部門紹介（臨床工学部）	4
園児からの手紙	5
外来担当医一覧	6
移転に関する状況報告	7
連携医療機関認定病院紹介／求人情報	8



診療紹介 シリーズで当センターの診療内容についてご紹介いたします。

▶ 心臓・血管外科

当センター心臓・血管外科では、以下のような血管の診療を主に担当しています。

■末梢動脈疾患

- ・坂道を歩くと足が痛くなるが休むと改善する
- ・足が冷えて色が悪くなる
- ・足の傷がなかなか治らない

主に動脈硬化を原因として、血管が細くなり手足の血流が低下する閉塞性動脈硬化症や、逆に血管の壁が弱くなって血管が膨らんでしまう末梢動脈瘤など、主に動脈硬化に起因する血管の病気の外科的治療を行います。

動脈が急に詰まって血流がなくなった場合には痺れ、痛み、冷感など急激な症状に見舞われますが、血管が徐々に細くなってきた場合には症状が出づらい場合があります。長く歩くと足が痛くなり一度休憩が必要となるような症状がある方は一度ご相談ください。両手足の血圧を同時に測る検査などで原因がはっきりする場合があります。

■末梢静脈疾患（下肢静脈瘤など）

- ・足の血管が膨らんでいる
- ・網目状に血管が目立っている
- ・足がむくみやすい
- ・明け方に足がつる

足の表面の血管がポコポコと膨らんでくる下肢静脈瘤は、70歳を超えると70%くらいの方に見られる比較的多い病気です。

これは、体質的に静脈の壁が弱く、本来は足から心臓に戻る静脈の血液が重力で下に落ちて足に溜まってしまい、その圧力で血管が膨らんでしまうことによって起こります。逆流を起こしている静脈は一部の血管であることが多く、原因となっている静脈を閉塞させたり除去することにより症状を改善します。

最近ではレーザーを使用した治療が一般的になっており、当センターでも最新式の機械を使用して治療にあたっています。当センターでは痛みや頻回の通院などの患者さんの負担をできるだけ減らすため、麻酔科の協力を得た上で日帰り、入院どちらの治療にも対応しています。

■人工透析用ブラッドアクセス

- ・シャント静脈が異常に拡張している
- ・シャント肢の指先が冷たい
- ・手がむくみやすい
- ・血流が低下している
- ・他院で、もうシャントが作れないと言われた

人工透析は、日本人の400人に1人程度が受けている治療です。腎臓の働きを補うため、週に3回、一回4時間程度、体の血液を機械に通して老廃物や水分を除去します。

血液透析では1分間に200ml以上の血液を濾過していますが、体の表面にある静脈にはこれほど

の血流はないので、腕の中間部で動脈と静脈を直接つなぐシャント手術を行なって、大量の血液を引けるようにしています。これは血液透析を行なっている方の生命線になります。

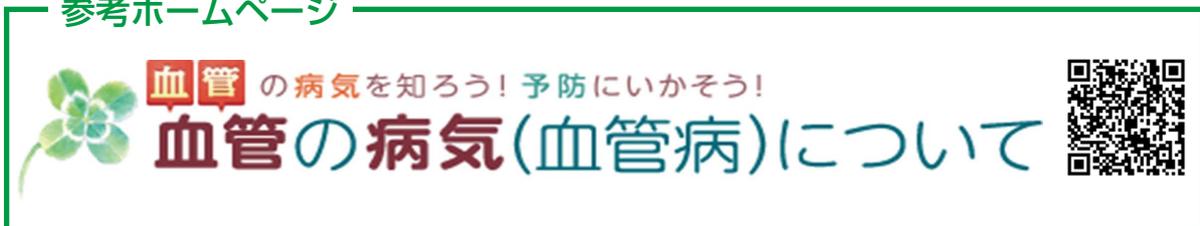
当科では、このシャントの作成はもとより、血管の狭窄や閉塞、人工血管を使用した手術、過剰血流の調節術、シャント静脈瘤の治療、シャント高血圧の治療などアクセス管理を総合的に行なっています。

また当センターの特徴として、循環器内科、形成外科、看護部、リハビリテーション部、地域連携・入退院支援センターなど多職種で患者さんの治療を協力して行なっているのも特徴です。

その他、心臓大血管手術（冠動脈バイパス手術、心臓弁膜症手術、大動脈解離に対する手術、胸部、腹部大動脈瘤手術）は獨協医科大学 心臓・血管外科（ハートセンター）と連携して獨協医科大学本院で行なっています。

血管の病気、もしくはその疑いの症状でお困りの方はお気軽に当科にご相談ください。

参考ホームページ



日本医療機能評価機構による認定証更新のお知らせ

当センターは、公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価（3rdG:Ver.2.0）を受審し、認定基準を達成していると認められ、認定証が2022年2月3日に更新されました。



部門紹介 シリーズで当センターの各部門をご紹介します。

▶ 臨床工学部

【業務内容】

◆血液浄化センター

体内に貯まった老廃物などを排泄あるいは代謝する機能が働かなくなった場合（腎不全）に行う治療で血液透析、血液濾過透析、血液吸着など様々な血液浄化療法を行っています。臨床工学技士は人工透析装置の操作・管理、穿刺を行っています。

◆カテーテル室

心臓カテーテル検査は心臓病の診断をするための検査法であり、臨床工学技士は検査一連の記録をするためにコンピュータを操作し、カテーテル治療においては治療機器や画像診断装置の操作を行います。緊急時には大動脈バルーンポンピング装置やECMO（エクモ）装置の操作・管理も行います。

また不整脈に苦しむ患者さんのペースメーカ（PM）を体に植込む手術に立会い、機器の操作・管理を行います。手術後の外来フォローや遠隔モニタリングを行っております。

◆ME機器管理室・病棟・手術室

輸液ポンプ・シリンジポンプ・人工呼吸器・生体モニタなどの医療機器を安全に効率的（中央管理）に使用できるよう保守点検を行っています。病棟で人工呼吸器を使用した場合には装置に異常がないかラウンド点検や手術室で使用する医療機器の操作や点検なども行っております。

【スタッフ】

10人の若い臨床工学技士が在籍しており、新病院移転と共にこれから益々発展していきます。

【特 色】

病院内で各部門数人に分かれ、医師・看護師や各種の医療技術者とチームを組んで生命維持管理装置や検査・診断・治療装置の操作などを担当しています。また医療機器が何時でも安心して使用できるように保守・点検を行っており安全な機器を提供しております。

【最後に】

臨床工学技士は、現在の医療に不可欠な医療機器の専門職です。今後益々増大する医療機器の安全性確保と有効性維持の担い手としてチーム医療に貢献していきます。医療機器については臨床工学部になんでもご相談ください。



日光市内の幼稚園・保育園児たちからお菓子をいただきました

管理課

去る令和3年12月24日に、日光市内の幼稚園・保育園児たちから、日光医療センター職員への感謝・応援の気持ちが綴られたメッセージカードとお菓子（チョコレート）というとても素敵なクリスマスのサプライズプレゼントが届きました。メッセージカードはシールや折り紙で可愛くデコレーションされており、職員一人ひとりに向けて心を込めて作られており大変感激しました。

このサプライズのプレゼントは、コロナ禍で未だ先の見えない状況が続いている中で大きな光明となり、今一度やる気を起こさせてくれるものとなりました。これを励みとして、日光市の基幹病院として引き続き地域医療へ貢献することができるよう、教職員一丸となり邁進してゆきます。



外来担当医一覧

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	(交代担当)	午前
呼吸器内科	知花和行准教授(新患) 伊藤 誠医師	戸田正夫特任教授 【膠原病、アレルギー-外来】 伊藤 誠医師	原澤 寛特任教授 (新患) 戸田正夫特任教授 (膠原病、アレルギー-外来)	原澤 寛特任教授 (新患)	原澤 寛特任教授 (新患)	原澤 寛特任教授 (新患)	野村由至医師	知花和行准教授 (新患)	吉田雄哉医師	吉田雄哉医師	吉田雄哉医師	知花和行准教授(第15週) 原澤 寛特任教授(第2週) 戸田正夫特任教授(第4週)
呼吸器外科	*1 手塚勇吾医師 *2 佐藤愛准教授(新患)	手塚勇吾医師	吉永智則医師(再診) 吉田栄徳医師	吉永智則医師(再診)	吉永智則医師(再診)	手塚勇吾医師(新患) 吉田栄徳医師(再診)	井上 尚准教授	佐藤愛准教授(再診) 非特勤医師(新患)	井上 尚准教授	佐藤愛准教授(再診)	吉永智則医師(新患) 山口真太郎医師(再診)	
消化器内科	*1 *2	中元隆明特任教授 大谷 直由准教授 河邊 篤彦医師 【吐血・心気虚・心外來】	川本進也教授 【腎臓内科外來】 堀江康人教授 大谷 直由准教授	川本進也教授 【腎臓内科外來】 堀江康人教授 大谷 直由准教授	川本進也教授 【腎臓内科外來】 堀江康人教授 大谷 直由准教授	川本進也教授 【腎臓内科外來】 堀江康人教授 大谷 直由准教授	杉山 拓史医師(第1、5週) 安 隆則教授(第2週) 河邊 篤彦医師(第4週) 上野 明日香医師					
循環器内科	*1 *2	中元隆明特任教授 大谷 直由准教授 河邊 篤彦医師 【吐血・心気虚・心外來】	倉井英卓医師 岡 宗訓医師 (第1、3週)	倉井英卓医師 岡 宗訓医師 (第1、3週)	倉井英卓医師 岡 宗訓医師 (第1、3週)	倉井英卓医師 岡 宗訓医師 (第1、3週)	伴場信之特任教授(第2週) 中谷祐己准教授(第1、5週) 倉井英卓(第4週)					
糖尿病・内分泌内科		伴場信之特任教授	中谷祐己准教授 【申状課工コー外來】	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授	伴場信之特任教授(第2週) 中谷祐己准教授(第1、5週) 倉井英卓(第4週)
脳神経内科		濱口真衣医師	渡邊由佳准教授 (予約のみ)	渡邊由佳准教授	渡邊由佳准教授	渡邊由佳准教授	渡邊由佳准教授	渡邊由佳准教授	渡邊由佳准教授	渡邊由佳准教授	渡邊由佳准教授	権名智彦医師 永島優季講師 (脳神経検査 第3週)
外科		上田 裕医師	高脚 智医師/吉松滋樹医師	尾形英生講師	尾形英生講師	尾形英生講師	山口 悟教授	山口 悟教授、大橋裕恭医師				
整形外科		長田 重教授 大江真人医師 鳥羽祥太医師	南出 聖人教授 押久保岳人医師 鳥羽祥太医師 中井生非特勤講師 【シメツ外來・第1週】	南出 聖人教授 押久保岳人医師 鳥羽祥太医師 中井生非特勤講師 【シメツ外來・第1週】	南出 聖人教授 押久保岳人医師 鳥羽祥太医師 中井生非特勤講師 【シメツ外來・第1週】	南出 聖人教授 押久保岳人医師 鳥羽祥太医師 中井生非特勤講師 【シメツ外來・第1週】	整形外科医師 整形外科医師					
形成外科		西塚翔平医師	藤澤大輔講師	藤澤大輔講師	藤澤大輔講師	藤澤大輔講師	藤澤大輔講師	藤澤大輔講師	藤澤大輔講師	藤澤大輔講師	藤澤大輔講師	藤澤大輔講師(第4週) 西塚翔平医師(第2週)
心臓・血管外科		土屋 豪医師 (第1、3、5週) 手塚 雅博医師 (第2、4週)	土屋 豪(第1) 緒方孝治(第2、4、5)									
皮膚科		幸 英夫准教授 *(予約外來)	野口瑞希医師	野口瑞希医師	野口瑞希医師	野口瑞希医師	野口瑞希医師	幸 英夫准教授(第1、4週) 横山 愛医師(第2、5週)				
泌尿器科		幸 英夫准教授 *(予約外來)	幸 英夫准教授 *(予約外來)	幸 英夫准教授 *(予約外來)	幸 英夫准教授 *(予約外來)	幸 英夫准教授 *(予約外來)	幸 英夫准教授(第1、4週) 横山 愛医師(第2、5週)					
麻酔科							横山 愛医師 *(予約外來)					
禁煙外来							横山 愛医師 *(予約外來)					
ドック・健診(予約制)		松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授	松本和則特任教授
看護外来							ストーム(随時)	ストーム(随時)	ストーム(随時)	ストーム(随時)	ストーム(随時)	

令和4年4月1日現在

獨協医科大学日光医療センター 外来担当医一覧

獨協医科大学日光医療センター
〒321-2593
栃木県日光市高徳632番地
TEL 0288-76-1515 (代表)
他城連携入通院支援センター
TEL0288-76-1717(直通)
FAX0288-76-1700

○受付時間：月曜日(8:50~11:00) ※再診受付は午前8時30分から稼働しております。(再診予約の方)
○診療時間：月曜日(9:00~12:00/13:00~16:30)、火曜日(9:00~16:30)、水曜日(9:00~16:30)、木曜日(9:00~16:30)、金曜日(9:00~16:30) ※リウマチ外来：毎月第1木曜日(予約のみ)、
土曜日(9:00~12:30) ※心臓・血管外科：水曜日については14:00~16:00(予約のみ)
○予約変更等のご連絡は、原則として前日(土曜・休診日を除く)の午後3時~4時までにご連絡ください。その他の時間帯はご連絡ください。
○内科受付0288-76-0620、外科受付0288-76-0622、整形外科受付0288-76-0623、JICAリハビリテーションセンターへご連絡ください。
○患者様をご紹介くださる際は、緊急時を除き他城連携・入通院支援センターへご連絡ください。
*呼吸器科：令和元年10月から特勤医師の配属となります。
*診療医師が交代になる場合がありますので、医師を指定される場合には、事前にお電話にてご連絡ください。
*1：予約外來 *2：予約外來

移転に関する状況報告



■ 9月 (2021年)

9月に工事が始まり着々と建設されています。



■ 10月



■ 11月



■ 12月



■ 1月 (2022年)



■ 3月



■ 2月

連携医療機関認定病院紹介 岡 医院

日光市 岡 医院 岡 宗男

平成29年日光市へ戻り、父から当院を継承してから、お陰様で4年が経過しました。当院は東武日光駅より1km上、神橋から500m下の旧市役所の前にあります。祖父がこの地に歯科医院を開業し、100年となりました。月・火・金・土の午前が一般内科・糖尿病外来、月・火・金の午後訪問診療を行っております。訪問診療範囲は当院より半径16kmで、日光市内、鬼怒川温泉駅、塩野室、大沢、小代地区となります。高齢で医療・介護困難の方々への医療提供を行い、悪性腫瘍含む末期患者様の看取りを多職種と連携して実施。CVや人工呼吸器管理、酸素・胃管カテーテル、胃瘻を含めた経管栄養管理及びPCAポンプ・カフティポンプ・シリンジポンプ等を活用し、麻薬投与による疼痛緩和、症状の軽減を行っております。

日光医療センター糖尿病・内分泌内科では第1・3週木曜日の外来枠を担当しております。又、特養嘱託医、日光署の警察医としての活動も行っております。

【看取りと検案の実績】

実績（件数）	平成30年度	平成31年度 (令和1)	令和2年度	令和3年度
新規訪問契約	24	24	24	25
訪問診療看取り	8	8	8	6
特養すかいの郷における看取り	11	7	6	6
検案 件数	9	14	16	21

現在、上都賀郡市医師会の在宅医療推進委員として在宅医療の普及・啓発の責務を担い、日光市と連携し講演会、医療介護連携の会に参加、地域の勉強会でACP普及啓発、デスカンファレンス、担当困難事例検討会、どこでも連絡帳勉強会等企画開催しております。

日光市は栃木県の1/3の面積を誇り、日本で3番目に広い市です。その上高齢化率は35%と超高齢化都市でありながら、在宅医療・訪問介護に関する社会資源が乏しい地域でもあります。日光市という特徴的な地域において在宅医療の推進と基幹病院様との連携を一層図り、地域包括ケアの充実に尽力していく所存です。今後とも宜しくお願い申し上げます。

当センターと一緒に働いてみませんか？

令和5年度採用
看護職員募集中

詳細なお問い合わせは下記まで
TEL 0288 - 76 - 1515 (内線270) 看護部

※令和4年度採用についても随時対応いたします。

編集後記

寒い冬もようやく終わり、空気が暖かく春らしくなってきました。しかし依然として新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、国内のワクチン接種も進んではいますが、変異株の蔓延など未だ猛威を振っています。このような中ですが、2月に行われた北京オリンピックでは日本人選手の活躍にとっても感動させられました。コロナ禍で気分が沈みがちな昨今ですが頑張っていた選手達の姿を見ると自分達も頑張ろうと思えました。引き続き感染対策をしっかり行って元気に生活していきましょう。

日光医療センター通信 ～いろは～ 第44号

〒321-2593 栃木県日光市高德632番地 TEL 0288-76-1515(代表) FAX 0288-76-1611

<https://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/>

発行年月日/令和4年6月00日

編集・発行/獨協医科大学日光医療センター

広報・マーケティング委員会

印刷/株松井ピ・テ・オ・印刷

看護師募集サイトはこちら

<https://www.dokkyomed.ac.jp/>

[nmc/recruit-nurse/](https://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/recruit-nurse/)

または、右記のQRコードを読み取りアクセスして下さい。

